

トップ 中小・ベンチャーニュース 記事詳細

[中小・ベンチャー]

あいホールディングス

顔認証

漢王科技

あいHD、顔認証で入退室管理する高精度3Dシステム投入

ツイート シェア 0 LINEで送る (2017/12/5 05:00)



顔認証システム「3DGarm」

あいホールディングスは、入退室や出退勤の管理システムに最適な3次元（3D）顔認証するシステム「3DGarm（スリーディーガーム）」を下旬から発売する。3Dの顔認証は可視カメラと赤外線カメラと独自アルゴリズムで、目の周辺の逆三角形地帯を中心に7000点を数値化し登録。登録時間は1秒以内で済む。他人受け入れ率（FAR）は100万分の1で、本人拒否率（FRR）は100分の1以下という高精度に認証する。

販売価格はオープン価格だが、3DGarm1台、2000件データ管理で月額5000円（消費税抜き）から（設置費・回線費用は含まず）。販売はグループ会社のドッドウエル ビー・エム・エス（東京都中央区、佐々木秀吉社長）が行い、監視カメラやカード発券機で強みとする病院やマンション、ホテルに提案する。

3DGarmは、中国・北京にある漢王科技が開発した3D顔認証装置に、あいホールディングス傘下企業らが運用管理ソフトウェアを加えクラウド上で扱えるようカスタマイズした。例えば、全国展開するホテルであれば、顧客の顔認証を登録しておけば顧客がどこの地域のホテルを利用してもフロントでキーをもらわなくてもスムーズに部屋に入れるという。非接触ICカードリーダーを搭載し、強固なセキュリティが構築できる。あいホールディングスはIoT（モノのインターネット）をグループカが

生かせるビジネス創出の機会と捉え、2017年2月にIoT推進室を設けた。3DGarmは第1弾となる商材で、今後は計測機器との連動などを視野に入れている。

(2017/12/5 05:00)

ツイート シェア 0 LINEで送る

マイクリップ登録する

紙面イメージで見る

記事を利用する

あわせて読みたい

ディーゼル車が欧州から消える？ 仏ルノー幹部が予測、VW不正の規制強化でコスト増

マシニングセンターの進化と現状

富士重、新型「インプレス」好調発進―先行予約、4千台超

トヨタ、FCVの納期大幅短縮―「ミライ」すぐそこにトヨタ、FCVの納期大幅短縮―「ミライ」すぐそこに

ようこそ、
jpabscmrnews@abeam.com
(ログイン中)

[ログアウト]

マイページ | マイニュース | マイ

電子版からのお知らせ

日刊工業新聞社からのお知らせ

最近あなたが読んだ記事

2017/12/05
法人税実質負担率、企業で異なり
―賃上げ企業、2段階下げも



カレンダーから探す

11月							2017年12月 ▼
	日	月	火	水	木	金	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

今日の紙面PDF

12月
の紙
面
PDF